

有料化財源活用状況

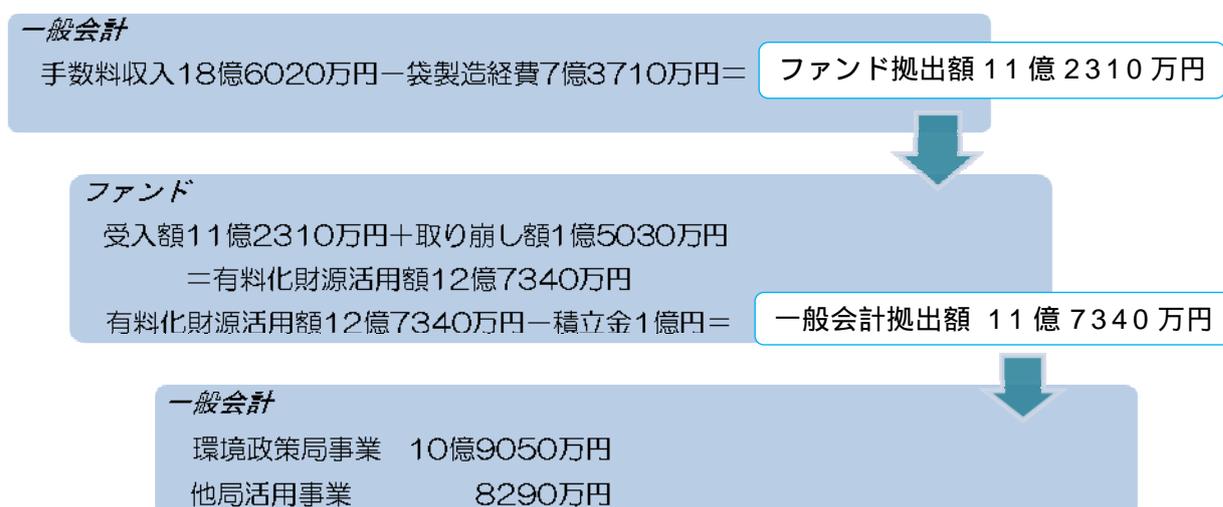
1 京都市民環境ファンドについて

(1) 趣旨

低炭素社会の構築，循環型社会の推進及び自然共生社会の創出により，市民や事業者とともに「環境共生都市づくり」(持続可能な社会づくり)を実現するため，これをさまざまな主体により経済的に支える仕組みとして平成21年4月に設置し，寄付金，国庫補助金等，有料指定袋制による手数料収入の一部を積み立てている。

(2) 有料化財源に係るファンドスキーム(23年度当初予算)

有料化財源(手数料収入 - 袋製造経費等)は，毎年度，全額を京都市民環境ファンドに積み立てたうえで，有料化財源活用事業(ごみの減量・リサイクルの推進，まちの美化の推進，地球温暖化対策)に充当するため必要額を取り崩している。



(3) ファンド残高(単位:千円)

項目 \ 年度	21年度末	22年度末
有料化財源	398,351	869,271
寄付金，国庫補助金等	761,846	640,558
合計	1,160,197	1,509,829

(4) 中長期的な使途(平成22年8月「有料化財源活用方法に関するとりまとめ」)

ごみの減量・リサイクルや環境学習等に関する施設の整備費を活用対象とすべきである。有料指定袋制の安定的な運用に関する経費として，一定額は留保すべきである。

2 有料化財源活用事業の決算・予算，取組実施状況

(1) 総括表

(単位:千円)

項目	19年度決算	20年度決算	21年度決算	22年度決算	23年度予算
処理手数料収入(A)	2,170,256	1,916,913	1,872,424	1,912,240	1,860,200
有料指定袋導入必要経費(B)	1,168,589	966,482	731,144	561,650	737,100
市民環境ファンド取り崩し(C)	-	-	0	0	150,300
財源活用額(A)-(B)+(C)	1,001,667	950,431	1,141,280	1,350,590	1,273,400

(2) 財源活用事業の内訳

(単位:千円)

項目	主な事業概要	19年度決算	20年度決算	21年度決算	22年度決算	23年度予算	現 状 等			
ごみ減量・リサイクルの推進										
ごみ減量普及啓発等	<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量，分別リサイクルや適正排出に関する啓発 総合環境情報誌の作成 環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」 	56,799	10,214	26,222	42,669	28,700	エコバスツアー開催状況			
							年度	回数	参加人数	
							21	53回	1,109人	
22	64回	1,324人								
20年11月下旬から事業を実施										
ごみ減量推進会議の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 地域ごみ減量推進会議の活動支援 2R型エコタウン構築事業 ごみの発生抑制(リデュース)，再利用(リユース)を重視した事業展開の普及促進 	50,276	43,400	39,200	34,522	39,300	地域ごみ減の拡大状況			
							年月	団体数		
							17年12月	75団体		
23年3月	145団体									
京(みやこ)の環境みらい創生事業	<ul style="list-style-type: none"> 「低炭素社会」，「循環型社会」の構築に向けた先進的な取組を支援し，最長3年にわたり総額1000万円を上限に助成金を交付 	12,742	31,457	31,736	24,621	34,000	事業実績			
							年度	応募数	採択数	
							20	5	2	
							21	28	4	
22	18	2								
各区環境パートナーシップ事業	<ul style="list-style-type: none"> 市民団体等が区役所と協働して実施する，ごみ減量，低炭素化，まちの美化を目的とした取組の支援 	12,165	13,027	10,356	9,271	7,000	事業実績			
							年度	件数		
							20	44		
							21	42		
22	39									
不用品リサイクル情報案内システム運用	<ul style="list-style-type: none"> 家庭で使用しなくなった家具等の不用品を処分するのではなく，再利用するというリユースの機会を広く市民に提供するため，電話・FAX・インターネットで登録や検索ができるシステムを運用している。 システムのPR活動を強化し，利用者の拡大を図る。 	1,585	3,373	3,469	3,545	3,600	運用状況			
							年度	アクセス数	成立件数	
							19	13,463	24	
							20	18,189	132	
							21	17,198	138	
22	14,653	103								
生ごみ堆肥化等の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 電動式生ごみ処理機やコンポスト容器の購入助成 購入価格の半額を助成(上限額:電動式生ごみ処理機:35,000円，コンポスト容器:4,000円) 地域単位での生ごみや落ち葉等の堆肥化を支援 	48,562	19,565	13,679	11,309	17,500	助成状況			
							年度	電動処理機	コンポスト	堆肥化
							19	1,448	89	
							20	604	60	
							21	398	63	
22	264	46	39							

項目	主な事業概要	19年度決算	20年度決算	21年度決算	22年度決算	23年度予算	現 状 等																		
コミュニティ回収制度	・地域ごみ減量推進会議をはじめとする各地域団体と連携するほか、環境拠点が地域での普及啓発に力を入れる等、制度の周知を図り、実施団体の拡大を図る。(回収品目:古紙類,古着類,缶類,びん類,ペットボトルなど)	27,220	26,545	32,669	37,345	41,200	回収拠点数(23年3月) ・資源回収拠点:68拠点 ・コミュニティ団体:1,856団体 ・てんぷら油:1,577拠点 ・リユースびん:127点 ・紙パック:294拠点 ・乾電池:131拠点 ・蛍光管:294拠点 回収実績																		
資源物拠点回収事業の推進	・より近いより便利な資源物回収拠点の設置 ・リユースびん(リターナブルびん)等の拠点回収 ・蛍光管の拠点回収 ・小型家電リサイクルモデル事業	43,193	30,900	27,755	31,418	56,000	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>17年</th> <th>22年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古紙類</td> <td>483t</td> <td>17,169t</td> </tr> <tr> <td>古布</td> <td>32t</td> <td>904t</td> </tr> <tr> <td>缶・びん</td> <td>4t</td> <td>151t</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>-</td> <td>33t</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>519t</td> <td>18,257t</td> </tr> </tbody> </table> その他:ペットボトル,小型金属	区分	17年	22年	古紙類	483t	17,169t	古布	32t	904t	缶・びん	4t	151t	その他	-	33t	計	519t	18,257t
区分	17年	22年																							
古紙類	483t	17,169t																							
古布	32t	904t																							
缶・びん	4t	151t																							
その他	-	33t																							
計	519t	18,257t																							
空き缶,空きびん,ペットボトルのリサイクルの推進	・缶・びん・ペットボトルの資源ごみをリサイクルセンターで選別・再資源化处理 ・施設運営費として活用	173,370	352,025	108,401	83,256	143,500	22年度収集量 ・13,318トン																		
プラスチック製容器包装のリサイクルの推進	・資源の有効活用と地球環境負荷の軽減を図るため,プラスチック製容器包装の分別収集を実施 ・施設運営費として活用	453,346	249,295	230,999	223,489	263,400	22年度収集量 ・9,506トン(全収集量)																		
「京都市循環型社会推進基本計画(2009-2020)」進捗状況調査	・「京都市循環型社会推進基本計画(2009-2020)」行動計画策定と進捗状況調査の実施	-	-	-	3,292	3,700																			
包装材削減推進京都モデルの構築	生産から流通,販売の各段階における包装材の削減に向けた基礎調査				9563	17,700																			
イベント等のエコ化の推進	京都市エコイベント実施要綱の策定 など	-	-	-	3,286	8,400																			
京都版エコマナーの創設	・「循環のまち・京都プラン」に掲げるごみ半減目標を達成するためには,市民ぐるみの環境活動の拡大が重要であり,「京都版エコマナー」により,エコ活動へのインセンティブを充実させ,市民参加でのエコ活動を推進する。	-	-	-	-	10,300	新規事業																		
生ごみ3R推進事業	・「循環のまち・京都プラン」に掲げるごみ半減目標を達成するためには,生ごみの3Rの取組を加速することが必要であることから,対策を検討するための調査を実施し取組を進めていく	-	-	-	-	9,800	新規事業																		
大型ごみリユースモデル実験	・期間・地域を限定した大型ごみ(家具類)のリユースシステム構築に向けたモデル収集を実施し,全市拡大に向けた効果的な手法について検討する	-	-	-	-	5,000	新規事業																		

項目	主な事業概要	19年度決算	20年度決算	21年度決算	22年度決算	23年度予算	現 状 等															
資源ごみ等の新回収システムモデル事業	・有害危険ごみ対策と資源回収を兼ねて、小学校、公園等を活用した移動デポをモデル実施し、本格実施に向けた検討を進める	-	-	-	-	20,300	新規事業															
資源物の持去り禁止	・市民啓発のためのちらしを作成するとともに、啓発ビラを用いて持去り者に対する啓発パトロールを実施していく。	-	-	-	-	9,200	新規事業															
第6回3R推進全国大会の開催	・3R推進月間である10月に大会を開催し、参加者に自らのライフスタイルを見直す機会を提供することで、ごみの減量・再資源化等の3Rに対する理解を深め、ごみゼロ社会の実現や循環型社会の形成に向けた取組を推進。	-	-	-	-	15,000	新規事業															
みんなのエコナビゲーター	・市民公募によるボランティアとともに環境保全に関する取組を推進	-	-	389	980	-	委嘱者数(22年度末) 31名															
環境体験学習プログラム事業	・小学校高学年向けの環境体験学習プログラムとして、テーマに応じた学習教材等を提供。	2,381	3,395	185	-	-	平成22年度から、「こどもエコライフチャレンジ事業」に統合。															
ごみ減量相談窓口事業	・各まち美化事務所にごみ減量アドバイザーを配置し、地域における環境施策の普及・啓発を推進	29,985	29,304	-	-	-	平成21年度から、環境共生推進員へ移行															
「京のごみ戦略21」進捗状況把握等調査	・計画の進ちょく状況を定期的にチェック、評価し、年次報告書を作成	1,099	-	-	-	-	年次報告書を作成															
京のごみ減量宣言シンポジウムの開催	・有料指定袋制開始から1年間の取組経過、ごみ減量効果の説明、パネルディスカッション等を実施	6,117	-	-	-	-	平成19年12月にシンポジウムを開催(来場者約1300人)															
まちの美化の推進																						
まちの美化活動への支援	・市民の自主的な美化活動に必要なごみ袋(まちの美化実践活動用ごみ袋)を配布するとともに、防鳥ネットの貸与により、ごみ収集定点の衛生及び良好な環境の保持を目的とし、定点管理を支援する。	13,169	10,085	7,125	11,331	10,200	ボランティア袋配布枚数(22年度末) 341,580枚 防鳥用ネット貸与数(22年度末) 3,556枚															
不法投棄対策	・不法投棄の監視体制を強化するため、引き続き監視カメラ貸与と制度を活用した取組を進める。また、地域住民や関係機関との協力、協働による取組を推進し、不法投棄のされにくい環境づくりを進め、不法投棄撲滅に向けた支援を行う。	27,197	1,923	5,554	2,096	3,000	監視カメラ等貸与数(22年度末) 7基 不法投棄ごみの処理状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>収集量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19</td> <td>4,526</td> <td>732t</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>4,334</td> <td>499t</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>3,997</td> <td>323t</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>3,057</td> <td>322t</td> </tr> </tbody> </table>	年度	件数	収集量	19	4,526	732t	20	4,334	499t	21	3,997	323t	22	3,057	322t
年度	件数	収集量																				
19	4,526	732t																				
20	4,334	499t																				
21	3,997	323t																				
22	3,057	322t																				
地球温暖化対策																						
廃食用油燃料化事業 市民回収支援	・使用済てんばら油の回収支援及び回収拠点の拡大	33,391	32,357	32,564	34,256	40,500	回収実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>17年度</th> <th>22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回収量</td> <td>13万%</td> <td>19万%</td> </tr> <tr> <td>拠点数</td> <td>956</td> <td>1,577</td> </tr> <tr> <td>学区数</td> <td>156</td> <td>220</td> </tr> </tbody> </table> 市内全220学区中	区分	17年度	22年度	回収量	13万%	19万%	拠点数	956	1,577	学区数	156	220			
区分	17年度	22年度																				
回収量	13万%	19万%																				
拠点数	956	1,577																				
学区数	156	220																				

項目	主な事業概要	19年度決算	20年度決算	21年度決算	22年度決算	23年度予算	現 状 等									
バイオマス活用推進事業の策定	・周辺部に豊かな森林資源を有する本市には、間伐材や剪定枝など、生ごみ以外にも多くのバイオマスを有するという特性がある。こうしたものを資源として総合的に利活用する計画を策定した。	9,070	93,566	33,166	3,365	12,200	22年度の実績 ・「京都市バイオマス活用推進計画(2011～2020)」策定									
太陽光発電普及促進事業	・太陽光発電システム設置費用に関して助成する。平成22年度は、固定価格買取制度などにより設置件数の大幅な増加が予想されるため、予算を約2倍に拡充した。また、本市、府の申請窓口を一元化して市民の利便性の向上を図り、集会所等公益施設にも助成対象を拡充した。	-	-	64,728	178,522	211,100	22年度の実績 ・補助件数：857件									
子どもエコライフチャレンジ推進事業	・次世代を担う子供たちに対して自ら考え体験する環境教育を実施し、地球温暖化問題に対する理解を深めるとともに、子供の視点から家庭におけるライフスタイルを見直すことにより、家庭部門におけるCO2排出量の削減を図る。	-	-	6,233	13,396	14,300	22年度の実績 ・市内全小学校 177校、約11,200名が参加 平成22年度から「環境体験学習プログラム事業」と統合。									
「DO YOU KYOTO?」プロジェクト 147万人推進事業	・「DO YOU KYOTO?」というキーワードの一層の普及により、環境にやさしいライフスタイルへの転換を図る。 平成22年度は新たに「DO YOU KYOTO?」を大きく表示した市バス(ラッピングバス)を走らせた。	-	-	4,798	15,470	15,800	22年度の実績 ・ライトダウン：626箇所 ・京灯ディナー：25店 ・ノーマイカーデー：94団体など									
次世代自動車普及促進事業	・電気自動車を活用したカーシェアリングを実施	-	-	-	18,674	14,300	EVカーシェアリングの実施									
低炭素のモデル地区「エコ学区」事業	・市内温室効果ガス排出量の削減の目標達成のため、地域活動の中心的役割を担っている学区単位で、先進的な取組を総合的に実施し、ライフスタイルの転換を促すとともに、地域力の向上を図る。	-	-	-	-	29,300	新規事業									
環境にやさしいライフスタイルへの転換プロジェクト	・地球温暖化を防止し、低炭素社会を実現するためには、一人ひとりが環境にやさしい暮らし方を実践することが大切であり、ライフスタイルの転換に向けた社会実験等を実施する。	-	-	-	-	6,200	「環境モデル都市・京都」推進事業からの移管									
「環境モデル都市・京都」推進事業	・『木の文化を大切にすまち・京都』市民会議、「環境にやさしいライフスタイルを考える市民会議」における議論を踏まえ、取組状況を市民、事業者の皆様幅広く周知するためのシンポジウムや、環境にやさしいライフスタイルへの転換に向けた社会実験等を実施。	-	-	-	7,897	-	22年度の実績 ・環境にやさしいライフスタイルへの転換プロジェクトの実施 ・「木の文化を大切にすまち・京都」シンポジウムの開催									
「低炭素社会」「循環型社会」の構築に資する他局での活用事業																
森の力活用・利用対策～地球温暖化防止森林吸収源対策～	・地球温暖化対策計画を達成するため、地球温暖化防止森林吸収源対策として、平成24年度までの集中的な間伐等を行い、健全な森林の育成を図り、CO2吸収源となる森林の確保を行う。	-	-	50,631	43,281	56,900	整備実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>間伐</th> <th>作業路開設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21</td> <td>約475ha</td> <td>約5,856m</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>約362ha</td> <td>約7,038m</td> </tr> </tbody> </table>	年度	間伐	作業路開設	21	約475ha	約5,856m	22	約362ha	約7,038m
年度	間伐	作業路開設														
21	約475ha	約5,856m														
22	約362ha	約7,038m														

項目	主な事業概要	19年度決算	20年度決算	21年度決算	22年度決算	23年度予算	現 状 等									
商店街街路樹LED推進事業	・市内商店街の街路灯の光源を水銀灯や蛍光灯からLED電球へ転換する際の経費の一部助成により、商店街街路灯のLED化を促進し、環境にやさしいまちづくりを進めるとともに地域商業の活性化を図る。	-	-	-	-	10,000	新規事業									
都市緑化事業(街路樹整備)	・街路樹に被われた「道路の森づくり」を目指し、低木の植栽のみの中央分離帯に、新たに高木を植栽することで、都市緑化の推進を図る。 ・22年度は、川端通(今出川通～冷泉通間)、北大路通(東大路通～叡山電鉄間)において、事業を実施した。	-	-	-	18,865	16,000	22年度の実績 ・川端通 ケヤキ 62本 ハナミズキ 4本 ・北大路通 サルスベリ 13本									
地域産材普及供給体制整備事業	・地域産材の積極的な活用を促進するため、その供給情報を一元化し、木材の調整・管理を行う「地域産材ストック情報システム」の開発に向けた調査・検討を行う。併せて、地域産材の生産・流通・消費関係者等による『木の文化を具体化する推進委員会』を設立・運営した。	-	-	-	3,936	-	22年度の実績 ・委員会及び専門委員会の設置、開催(計5回) ・生産、流通、消費関係者の意識や需要を把握するためのアンケートの実施。 ・地域の特性を考慮した実現・継続可能なストックシステムの方向性の検討									
平成の京町家普及・促進事業	・低炭素で景観に配慮した「平成の京町家」の建設を促進するため、事業者、学識経験者等による組織を立ち上げ、普及啓発を行うとともに、モデル住宅展示場の敷地整備、伝統構法による住宅建設に対する補助制度の創設を行った。	-	-	-	3,885	-	22年度の実績 ・平成の京町家コンソーシアムの設立及び活動支援 ・「平成の京町家」認定制度創設 ・伝統型に対する建設費補助制度創設 ・モデル住宅展示場の敷地整備									
間伐材を活用した道路附属物の整備	・歩行者の乱横断防止のために設置している横断防止柵などの道路附属物について、都市景観の向上と低炭素社会に寄与することを目的として、世界文化遺産周辺等において間伐材を活用する。	-	-	6,939	6,129	-	整備実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施箇所</th> <th>施行延長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21</td> <td>二条城周辺</td> <td>219m</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>東本願寺前</td> <td>142m</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実施箇所	施行延長	21	二条城周辺	219m	22	東本願寺前	142m
年度	実施箇所	施行延長														
21	二条城周辺	219m														
22	東本願寺前	142m														
学校のエコ改修と環境教育事業	・学校施設の省エネルギー化と環境教育の充実を図る。	-	-	5,565	-	-	21年度の実績 ・実施箇所：朱雀第四小(環境建築・環境教育研究会委託費等)									
右京から考えるエコ交通～かしこいクルマの使い方～	・過度にクルマに頼る交通行動を考え直す「クルマとバス・地下鉄のかしこい使い方」の取組を更に進める。	-	-	566	-	-	21年度の実績 ・ワークショップ開催(3回実施、参加人数20名/回) ・啓発冊子「うたのD Eエコ」の作成・配布(6,000部) ・右京区まちづくりフォーラムで取組発表(約100名参加)									
京都市民環境ファンドへの積立		-	-	398,351	470,920	100,000										
計		1,001,667	950,431	1,141,280	1,350,590	1,273,400										